

# とちぎの財政

(平成28年度)



栃木県の財政状況  
ってどうなの？

VERY  
GOOD  
LOCAL  
とちぎ

栃木県元気ニコニコ室長 「とちまるくん」

栃木県の予算って  
どうなってるの？



## 人も地域も真に輝く とちぎの元気発信予算

「とちぎ元気発信プラン」と「とちぎ創生15戦略」<sup>いちご</sup>の積極的な推進

次代を拓く人づくり戦略

強みを生かす成長戦略

暮らし安心健康戦略

快適実感安全戦略

誇れる地域づくり戦略



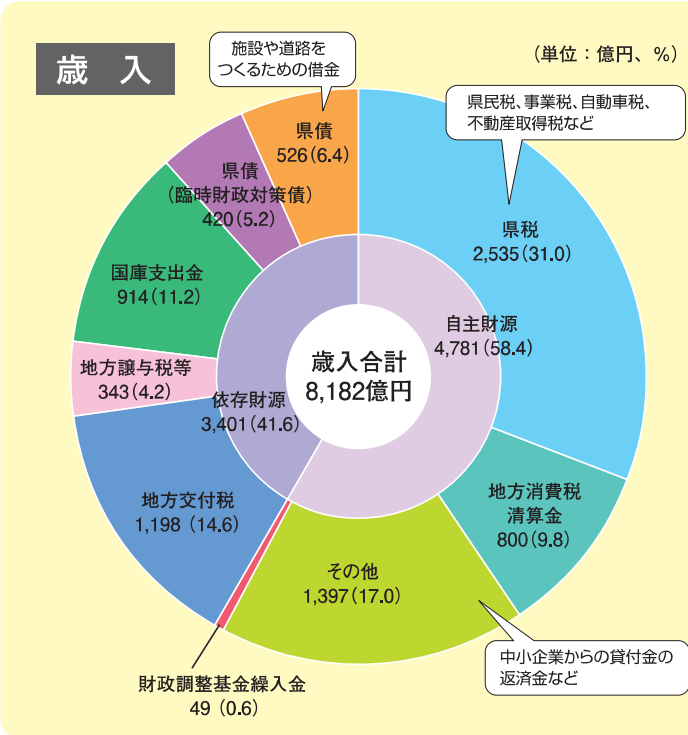
栃木県

Tochigi Prefecture

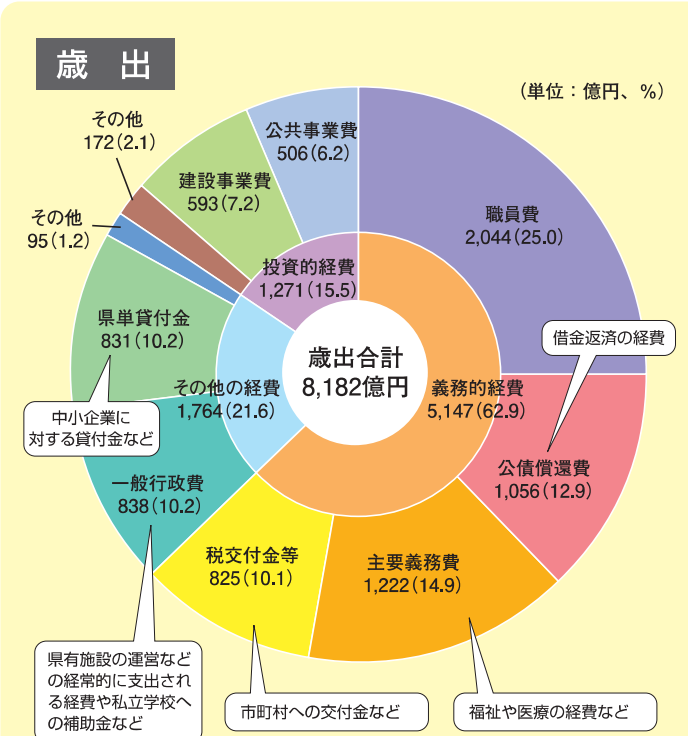
# 1 平成28年度当初予算の概要等

◎予算規模 8,181億6,000万円

- ・「財政健全化取組方針」の目標である「収支均衡予算」の編成
- ・「とちぎ元気発信プラン」と「とちぎ創生15戦略」の積極的な推進



- 歳入のうち、約31%が県税です。地方交付税、国庫支出金など国からくるものが約30%あります。
  - 全体の約12%を借金(県債)でまかなっているほか、足りない部分は貯金を取り崩しています。(財政調整基金繰入金)
  - 借金(県債)については、国の地方財源不足対策による臨時財政対策債(臨財債)が約44%を占めています。
- ※ 臨時財政対策債(臨財債)とは  
 臨時財政対策債は、国から地方公共団体に配分する地方交付税が足りないため、その不足する金額の一部を、いったん地方公共団体に借入れをしてまかなう県債のことで、  
 なお、返済する際の財源は、全額、地方交付税で補てんすることとされています。



- 歳出のうち、約25%を職員費が占めています。このうち、公立小中高等学校の先生や警察官の給与などが約84%を占めています。
- 職員費のほか、公債償還費や主要義務費など義務的経費が全体の約63%を占めています。



# 平成28年度予算の特徴

## 「とちぎ元気発信プラン」と「とちぎ創生15戦略」の積極的な推進

とちぎ元気発信プラン（平成28年2月策定） とちぎの目指すべき将来像「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な“とちぎ”」の実現に向け、今後5年間に県が行う仕事の進め方等を示す県政の基本方針

とちぎ創生15戦略（平成27年10月策定） 人口減少問題を克服し、将来にわたる地域の活力を維持していくため策定された栃木県版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」

15戦略 は、「とちぎ創生15戦略」関連事業であることを示しています。

### 次代を拓く人づくり戦略

- 小学校第3学年において児童数が急増する学級などに配置する非常勤講師の増員
- 課題発見・解決能力の育成や進路実現の支援など県立高校生の学力向上に向けた支援 15戦略
- すべての県民の地域社会における活躍を促進するための「輝くとちぎの人づくり推進基金」の設置
- 「とちぎ結婚サポートセンター（仮称）」の設置 15戦略 ○男性不妊治療への助成 15戦略
- 第3子以降保育料免除制度の対象拡大 15戦略
- 潜在保育士の再就職支援のための貸付等への助成 15戦略
- 「とちぎ女性活躍応援団（仮称）」の設立・運営 15戦略
- 平成34年に本県で開催する国体及び全国障害者スポーツ大会に向けた選手の育成・強化
- 総合スポーツゾーンの整備 ○障害者スポーツ拠点施設の整備 など

### 強みを生かす成長戦略

- 先端ものづくり産業（航空機、医療機器、次世代自動車）における研究開発等に対する助成 15戦略
- 県内産業団地等への企業立地に対する補助制度の拡充 15戦略
- とちぎ創生融資（金融機関提案型）の創設（融資枠：30億円） 15戦略
- ニッチトップ企業など「地域中核企業」の認定 15戦略
- 県内企業（製造業）に就職した方に対する奨学金返還の支援 15戦略
- トップレベルの施設園芸経営者育成のための高度専門家の派遣 15戦略
- スカイベリー等の生産拡大のための施設整備に対する助成 15戦略
- にら・アスパラガス導入のための施設整備への助成 15戦略
- 木材加工流通施設、林内路網の整備への助成 15戦略
- とちぎ版DMO（地域が主体となって行う観光地域づくりの推進主体）の形成支援 15戦略
- 国内外に向けた観光誘客プロモーション 15戦略 など

### 暮らし安心健康戦略

- 市町ごとの健康度の「見える化」に向けたアンケート調査の実施 15戦略
- 介護の担い手としての高齢者や障害者の参画支援 15戦略
- 「とちぎオレンジドクター（もの忘れ・認知症相談医）」登録制度の創設 15戦略
- 芳賀赤十字病院及び石橋総合病院の整備に対する助成
- 産科医を目指す医学生に対する修学資金の貸与 15戦略
- 障害者差別解消推進のための相談員の設置
- 障害者の地域移行・地域定着に必要な相談支援体制の整備に向けたモデル事業の実施
- 児童養護施設入所児童等の大学等進学への支援の拡充
- タブレット型端末等の導入による参加・体験型交通安全教育の推進 など

### 快適実感安全戦略





- 消防防災ヘリコプター「おおりり」の機体更新 ○防災行政ネットワークシステムの更新
- 避難所周辺道路等の整備・保全、河川の堆積土除去
- 耐震診断が義務付けられた民間大規模建築物の改修等に対する助成
- 中山間地域等での「小さな拠点」の形成に取り組む市町への支援 15戦略
- 地域住民やNPO等による地域共助型生活交通システム導入促進に向けた調査・分析 15戦略
- 県内中小企業等の省エネ改善の取組への支援 15戦略 など

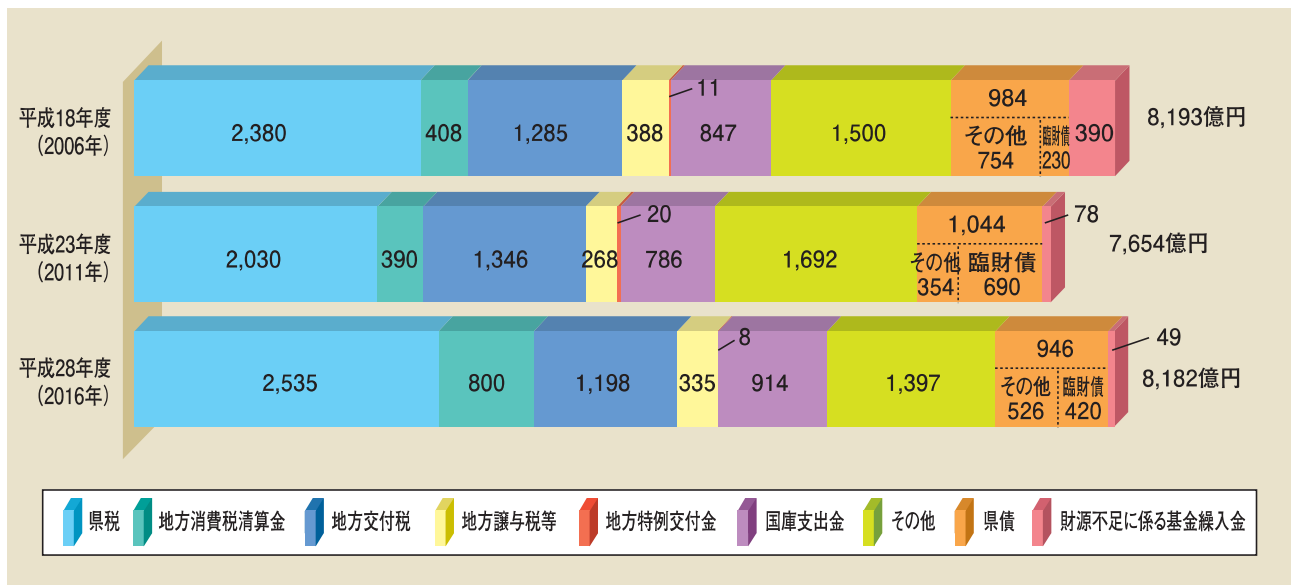
### 誇れる地域づくり戦略

- 地方創生に向けた地域づくり団体等の取組に対する助成 15戦略
- 地域づくりの担い手の育成に向けたとちぎ若者会議の開催、地域おこし協力隊サミットの開催 15戦略
- 農産物直売所等を拠点とした集荷・宅配サービスの提供に向けたシステム構築等の取組支援 15戦略
- 「とちぎ暮らし・しごと支援センター」の設置等U・Jターンの促進 15戦略
- とちぎの魅力ある文化を発信するための「とちぎ版文化プログラム」の策定
- 官民連携による「とちぎブランド力向上会議（仮称）」の設置、取組方針の策定 15戦略
- 地域ぐるみの総合的な鳥獣対策の促進 15戦略 など



## 2 平成28年度予算の内訳(過去の予算と比べてみると)

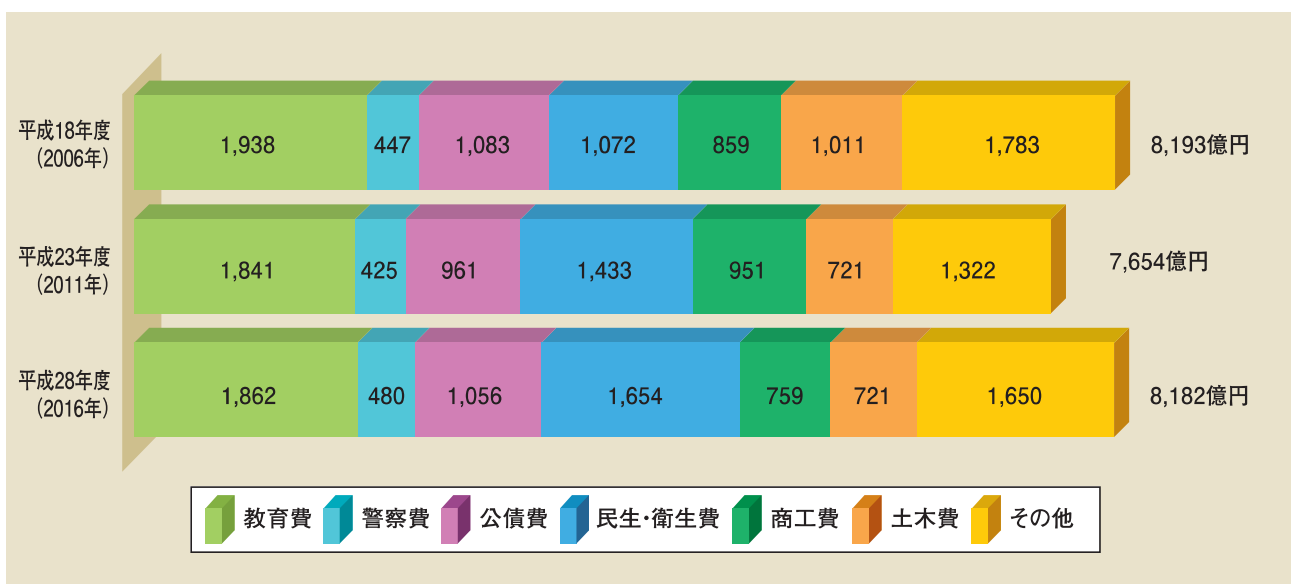
### 歳入

- 県税収入（）は、地方消費税率の引上げ等に伴い、平成18年度及び平成23年度に比べて増加しています。
- 地方交付税（）が減少する一方、臨時財政対策債（）は平成18年度に比べて増加しています。
- 財源不足に係る基金繰入金（）は、平成28年度は49億円まで減少しています。



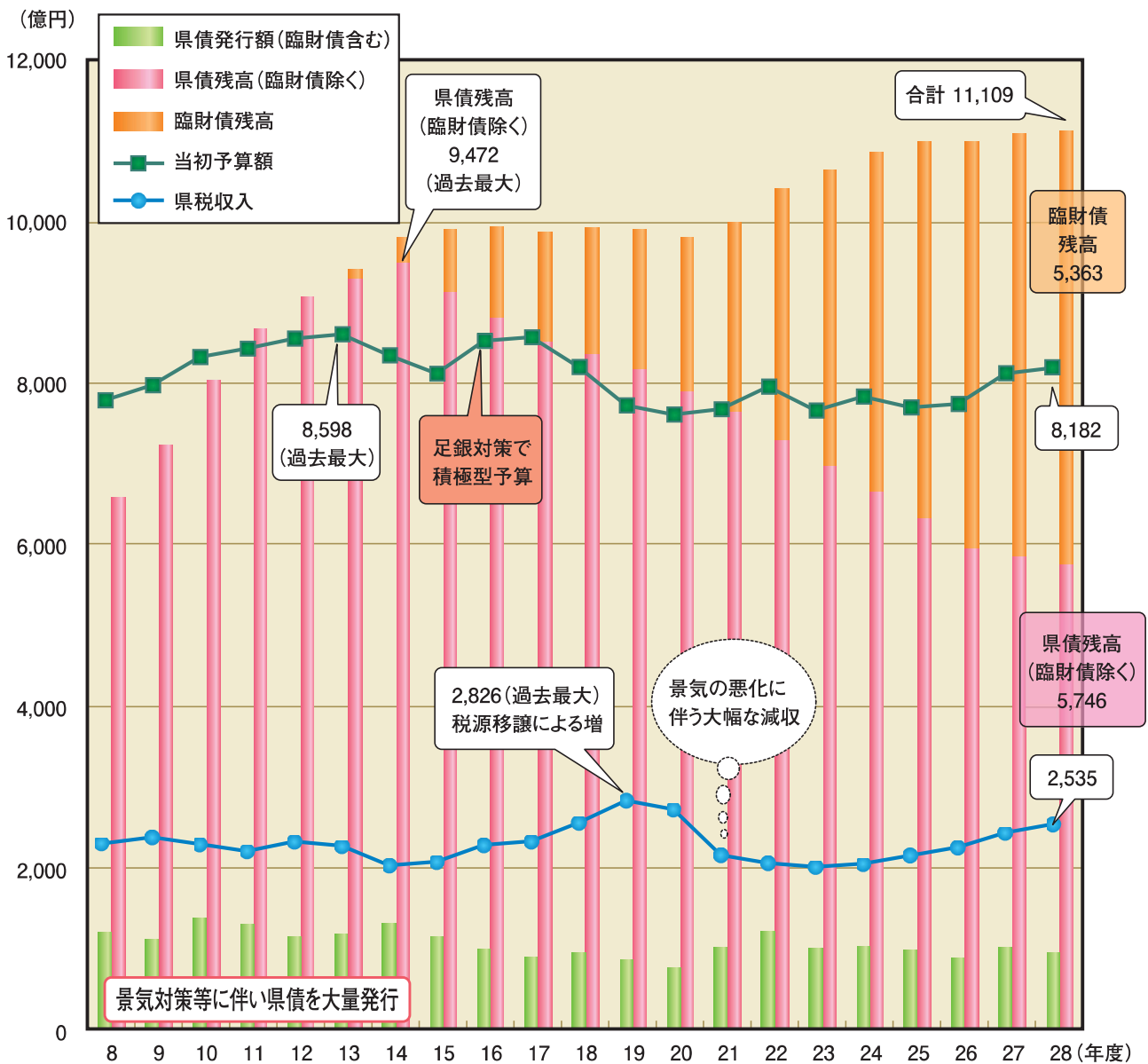
### 歳出

- 過去の借金に対する返済経費（ 公債費）が年間約1,000億円あり、大きな負担となっています。また、この返済経費は、今後も増加していくことが見込まれています。
- 高齢化等に伴い、福祉・医療の経費（ 民生・衛生費）が増えており、今後もこの傾向が続くものと見込まれます。

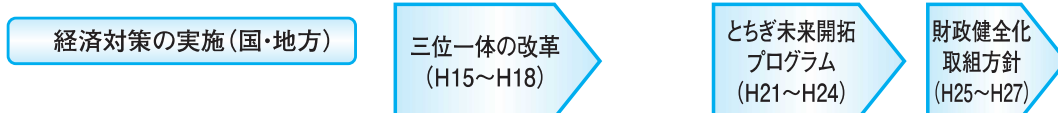


### 3 栃木県財政の推移(過去20年間をしてみると)

- 予算規模(当初予算額 ■)は、平成13年度に過去最大となっています。平成28年度は平成27年度に引き続き、8,000億円台となりました。
- 県税収入( ●)は、税源移譲により平成19年度に過去最大となっています。平成28年度は、法人事業税、個人県民税、地方消費税の増収等により2,535億円となることが見込まれています。
- バブル崩壊後、景気対策のために県債を大量に発行した結果、臨時財政対策債を除く県債残高は、平成14年度に9,472億円に達しましたが、その後減少しています。  
一方で、国の地方財源不足対策による臨時財政対策債の増加もあり、平成28年度の県債残高全体としては約1.1兆円となっています。



※県債残高、県債発行額及び県税収入については、26年度までは決算額、27年度は2月補正後、28年度は当初予算額です。



## 4 今後の財政収支見込み

- 平成28年2月時点での中期財政収支見込みを作成しました。
- 「財政健全化取組方針」（平成25年3月策定、取組期間：平成25～27年度）終了後も財源不足が見込まれることから、引き続き財政健全化に取り組めます。

### 栃木県の中期財政収支見込みについて

#### 概要

- ・平成28年度当初予算や国の地方財政対策等を踏まえ、中期的な収支見込みを試算しました。
- ・平成28年度当初予算をベースに、いくつかの前提条件を設定し機械的に試算したものです。
- ・従って、今後の経済情勢の変化や国の予算編成の動向等により、試算した数値は大きく変動します。

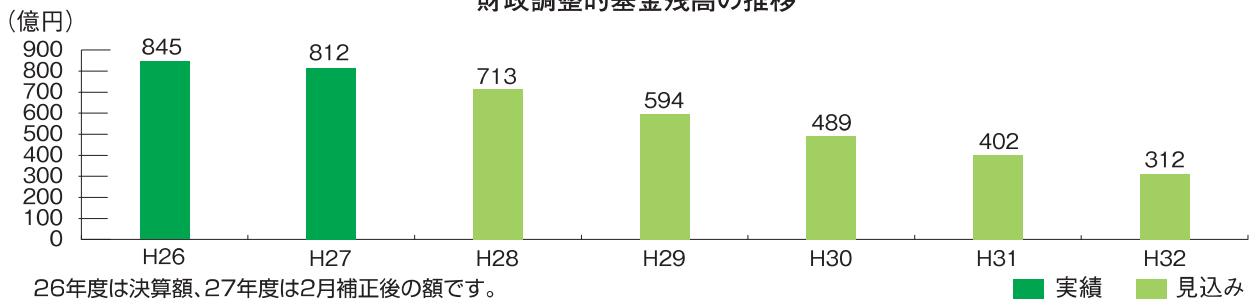
#### 試算の考え方

- ・職員費は、一般職員、教員の増減等を反映して試算しています。
- ・公債費、主要義務費、税交付金等は、増加を見込んでいます。
- ・県税、交付税等の一般財源総額は、平成28年度当初予算と実質的に同水準で推移することを前提に見込んでいます。
- ・新たな行政需要等（※）として、総合スポーツゾーン整備、地方合同庁舎整備等を見込んでいます。

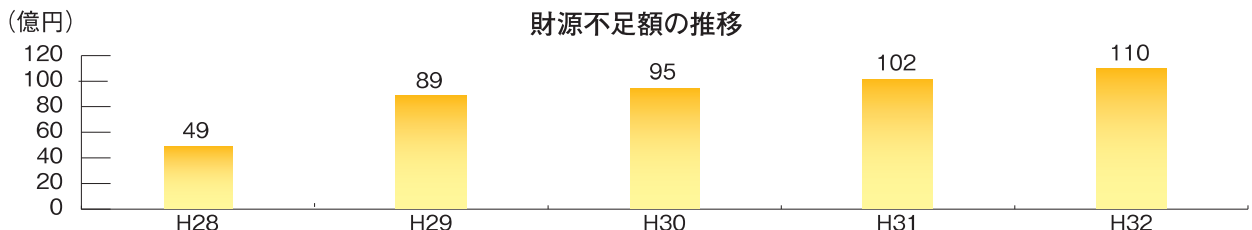
(単位：億円)

区分	H28	H29	H30	H31	H32
歳出合計（一般財源）A	5,932	6,189	6,327	6,351	6,373
新たな行政需要等分（※）	153	245	200	160	130
歳入合計（一般財源）B	5,883	6,100	6,232	6,249	6,263
新たな行政需要等分（※）	141	230	190	145	105
県債	91	150	130	110	75
県有施設整備基金	50	80	60	35	30
財源不足額（収支差）C = B - A	▲49	▲89	▲95	▲102	▲110
基金充当額	49	89	95	102	110
年度末財政調整的基金残高見込み	713	594	489	402	312
年度末県債残高見込み	11,109	11,201	11,311	11,433	11,560
臨財債除き	5,746	5,676	5,591	5,503	5,417

財政調整的基金残高の推移



財源不足額の推移



## 5 財政健全化への取組

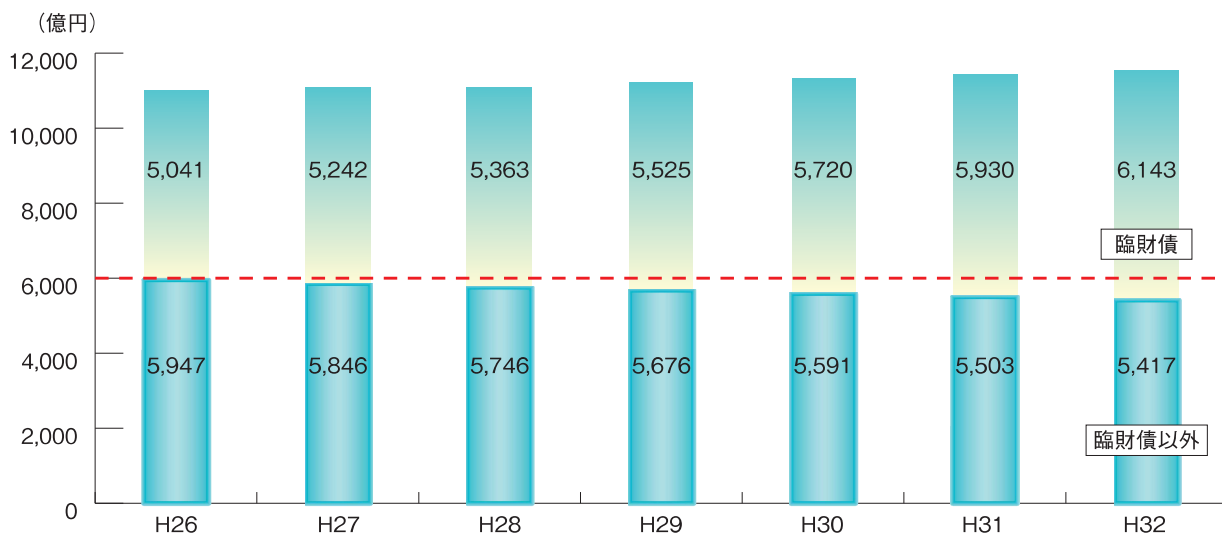
- 平成28年2月に作成した中期財政収支見込みにおいても、医療福祉関係経費等の増加に加え、大規模建設事業、「とちぎ元気発信プラン」等に基づく取組など新たな行政需要への対応等により今後も財源不足が見込まれています。  
このため、引き続き、財政健全化に取り組む、県政の持続的発展を可能とする強固な財政基盤を確立していく必要があります。

### ○栃木県行財政改革大綱（第6期）における具体的な取組項目

- (1)持続可能な財政運営
  - 中期的な視点に立った財政運営
  - 県債残高の抑制
  - 財政健全化判断比率や地方公会計関係資料などの公表による財政状況の「見える化」の推進
- (2)行政コストの削減
  - 各部局の主体的判断に基づく事務事業の見直し
  - 市町や各種団体等への補助金等の必要な見直し
- (3)歳入の確保
  - 県税収入の確保
  - 広告収入の確保等による自主財源の確保
- (4)県有財産の適正管理と有効活用
  - 公共施設等総合管理計画の策定等による公共施設等の総合的・計画的な管理
  - 全庁的かつ長期的な視点を踏まえた県有財産の総合的な利活用の推進
- (5)公営企業等の自立的経営
  - 「栃木県企業局経営戦略」（平成28～37年度）に基づく企業局事業の効率的な経営
  - 平成32年度までの経営改革プランに基づく病院事業経営の健全化
  - 流域下水道事業への公営企業会計の適用の推進

### ○県債残高の推計

- 今後、大規模建設事業のほか公共施設等の長寿命化対策（現時点では中期財政収支見込みに未反映）などにより県債発行の増加が見込まれますが、事業費の節減や国庫補助金等の活用などにより、県債発行額の縮減に努めます。  
目標：平成32年度末の県債残高（臨時財政対策債を除く）を平成26年度末の水準以下に抑制



26年度は決算、27年度は2月補正後、28年度は当初予算時点での残高です。29年度以降は、中期財政収支見込み（28年2月作成）により試算を行いました。  
今後の経済環境の変化や災害の発生状況等によって、試算した数値は大きく変動することとなります。

## 一世帯あたりの支出内訳

商工業の発展に  
99,300円



教育・文化に  
243,694円



福祉の向上と健康づくりに  
216,508円



合計  
1,070,764円



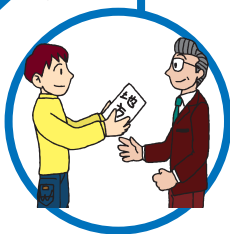
農林水産業の発展に  
48,703円



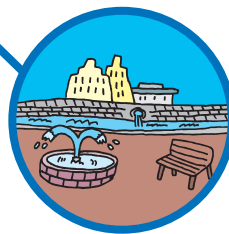
住宅・公園・下水道・道路に  
94,366円



犯罪・交通事故防止に  
62,856円

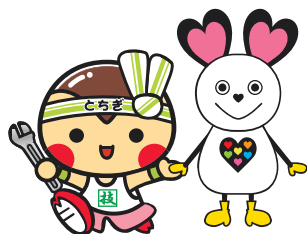


地方債の償還に  
138,221円



その他  
167,116円

764,090世帯 H28.1毎月人口調査



## とちぎ技能五輪・アビリンピック2017



とちぎから みらい はばた わざ ゆめ 未来へ 翔く 技と夢

技能五輪 : 平成 29 年 11 月 24 日～11 月 27 日  
アビリンピック : 平成 29 年 11 月 17 日～11 月 19 日

とちぎ技能五輪

検索



## ふるさと“とちぎ”への応援(寄附)を募集しています!!

みなさまからお寄せいただいたご寄附は、文化の振興、交通安全、福祉の向上、医療の充実、森づくり、日光杉並木街道保護や誰もが輝く人づくりなど、**ふるさと“とちぎ”づくりのために幅広く活用**させていただきます。

◎お問い合わせ先  
税務課 ☎028-623-2101

◎クレジットカードでも寄附をすることができます。  
◎ふるさと納税として、所得税、個人住民税の控除の対象になります。

## 栃木県 宝くじ情報

みなさん宝くじは  
栃木県内で  
買ってね。



県内で発売された宝くじの収益金は、皆さんの身近な暮らしに役立っています。

◎お問い合わせ先  
財政課 ☎028-623-2018

## 栃木県経営管理部財政課

〒320-8501 宇都宮市埜田1-1-20

電話 028-623-2018

FAX 028-623-2030

URL <http://www.pref.tochigi.lg.jp>

E-mail [zaisei@pref.tochigi.lg.jp](mailto:zaisei@pref.tochigi.lg.jp)

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています